

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	生活環境課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点の方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力	
分野別方針	(6)循環型社会の推進		実施計画事業	2) 3R・3S推進事業 (No.40)	
予算等事業名	じん芥受入分別事業				
目的	循環型社会の実現を目指し、ごみの減量化・再利用化を推進するとともに廃棄物の適正処理を行う。				
内容	持込みごみ等の円滑な管理運営を図る。				
根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 二宮町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例				
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	ごみ持込み件数 4,952件 (家庭系4,644件、事業系308件)				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	—				
前期(27年度)目標値	—			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	持込みごみ等の受入・分別を円滑に行う	
	—				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		18,640	18,368				
財源内訳	一般財源	2,867	1,019				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他	15,773	17,189				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 一般廃棄物の処理は町の責務である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 ごみの受入分別作業は、町の責務である一般廃棄物の運搬処理と直結している。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 持込みごみを適正に受入、分別している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 適正、安全に受入、分別するために必要な費用で実施している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 費用を抑えながら、適正・安全に事業が実施できている。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	ごみ処理広域化に伴い、分別が変更される部分が出てくるが、それに十分対応し、引き続き適正・安全に実施できるよう取り組む。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	ごみ収集日に出さずに施設に持ち込まれたごみ等を適正に処理する必要がある。		
今後の方向性	継続して適正に受入、分別を行う。		